

大沢おほさはの池いけは清涼寺せいりやうじの良よにあり、菊きくが島しまといふは池の中島なり、天神てんじんのやしろあり。〔此ゆゑこゝに天神島てんじんしまともいふ〕庭湖ていこ

石せき〔此かたはらの池中ちゆうちゆうにあり、むかし嵯峨院さかのゑいんありし時とき巨勢金岡こせのかなをかが建たしなり〕

新続古おほさは 大沢の池のけしきはふりゆけどかはらずすめる秋の夜の月 俊 成

夫 木 大沢の池の玉ものみかくれに蛙かなくなり五月雨の頃 康 光

五所明神ごしよのの社は大沢の西にあり、名古曾なこそのだき灌かんは其北にあり。〔むかしは此地こゝに灌殿かんてんあり、兼好けんかうが家集けあひに見えたり〕

拾 遺 灌の音はたえて久しくなりぬれど名こな流れて猶聞えけれ 大 納 言

小淵といふは桜の双樹あり。〔今は人家多し〕